

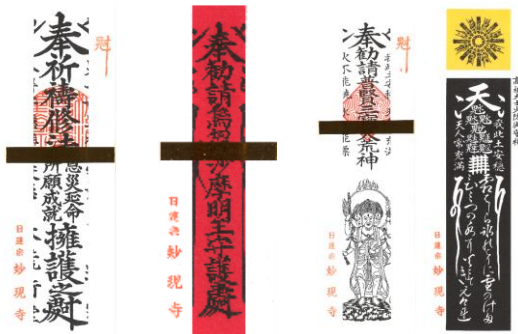
## 新年記帳

正月三が日（1日～3日）の間、本堂に記帳台を設けますので、ご住所とお名前をご記帳下さい。宗派を問わず、ご遠方にお住まいのご家族の分もご記帳下さい。

この新年記帳の巻物は厳封された後、令和4年の1年間、御宝前に奉安され、記帳された皆様の年中安泰が祈念されます。

## 家祈祷札・幣束(ごへい)の授与

新年を迎えるに当たり、各種の家祈祷札や幣束(ごへい)の交換や新規授与を、寺務所で受け付けます。



(左から)

玄関扉付近に貼る「家内安全札」

トイレ内に貼る「不浄浄化・病魔退散札」

コンロ付近に貼る「火災防止・健康増進札」

ボイラー付近に貼る「火難除け札」。

家庭内や会社等に御札を貼ってご守護をお受け下さい。宗派を問わない御札です。

【御札をご希望の方へ】

お求めになる御札の種類を前もって電話等でご一報をいただけますと、お待たせすること無くお渡しできます。

なお、御札1体につき1,000円以上をお気持ちでご志納下さい。

神棚などにおまつり(勧請)している幣束(ごへい)も用意できます。いま、勧請している幣束に合わせて用意しますので、年内、早い内にお寺へお持ち下さい。

## 位牌壇や仏壇に鏡餅はお供えする？

鏡餅には、元旦に新年の幸せをもたらす年神様「歳徳神」が宿ります。ご先祖さまと一緒に新年を迎えられることをお祝いし、たくさんの福をいただくため、位牌壇や仏壇にも鏡餅をおそなえしましょう。なお、半紙の上に鏡餅をお供えするとよろしいです。お供えする日について、12月29日は「二重苦」につながるとされ、また、大みそかにお供えするのは急ごしらえであることが年神様に無礼であるとして避けられてきました。ご参考まで。

喪中の各家は正月飾り(しめ飾りなど)や鏡餅はお供えしません。年末年始のお寺へのお参りでは、普段のようにお花や供物(菓子・果物ほか)を位牌壇へお供えし御題目を唱えましょう。

## 日蓮宗御寶曆と御守護札



毎年、御供米料をご志納いただいた各家へ曆と御守護札をお渡ししています。令和4年より「日蓮宗御寶曆」という曆になります。同じ内容で活字になり、読みやすくなりました。慶弔事の日取りを決める際は「二十八宿」や「六曜」を参考にする等、日々の暮らしにお役立て下さい。

御守護札は、各家の玄関扉の上部に、外に向けて貼る御札です。災難や厄災が家内へ入るのを防ぐように祈念しています。詳しい貼り方についてはお尋ね下さい。

御札や御守りなどの納め物は、寺務所まで直接お持ち下さい。不可燃物はお寺でお焚き上げできませんのでご了承下さい。